

株式会社ミヤコシ

少量・多品種・高品質対応の高性能印刷機を技術の力でつくり出す
 ——お客様との対話を重視しオーダーメイドで提供、紙メディア以外の領域へ事業拡大

ここに注目!

業界トップシェアのビジネスフォームからラベル・包材・生活資材へ
 欧州を皮切りにアジア・米国の販売網拡充、若くても活躍のチャンス

株式会社ミヤコシは戦後間もない1946年に設立した印刷機械メーカーだ。宮腰亨社長は3代目となる。最大の特徴は「お客様のために世界に1台だけの機械を提供」するオーダーメイドの技術開発力であり、それを可能にする「お客様との対話と、納入後のアフタサービス」(宮腰社長)だ。同社の代名詞は、伝票や明細書、圧着はがき、複写配送伝票、偽造防止カード、宝くじ、馬券・船券などのビジネスフォーム (BF) 印刷機で、業界トップシェアを誇る。一方、紙メディア市場が少しずつ縮小しているため、ラベル・包材・生活産業市場に展開し、食

品パッケージの薄くて柔らかいフィルムにも対応できるオフセット印刷機を実現した。2015年にはスペインに現地法人のミヤコシヨーロッパを設立し、欧州のワインラベル市場の販売強化に乗り出した。22年11月には設置環境と熟練オペレーター感覚をAI (人工知能) 化したラベル印刷機を開発、ラベル印刷機でも業界トップシェアを目指す。

SDGs対応の製品開発を次々に。AI搭載のラベル印刷機は23年度から出荷開始

ミヤコシは現在、主力の「BF、データ・プリント・サービス

(DPS)」、進出を本格化している「シール・ラベル」、「軟包装・パッケージ」の3分野を重点市場として、デジタル機、アナログ機を両輪に、高性能な印刷機、加工機を提供する世界で唯一の印刷機メーカーを標榜している。宮腰社長は「お客様から要望のある印刷機を“一品料理”でつくる。ニッチだけれど、使い勝手は抜群にいい。ナンバーワンでなく、オンリーワンになればいい」と話す。

国連が採択したSDGs (持続可能な開発目標) を踏まえ、揮発性を有する溶剤を全く使わない軟包装フィルム向けのオフセット印刷機、安全性の高い水性フレキソインクを使用した印刷・加工機をはじめ、安全・安心な紙ストロー生産機、様々なサイズの紙製の袋を生産する機械などを次々に開発し、技術力の高さを見せつけている。特許取得件数は国内122件、海外131件 (22年8月時点) に及ぶ。

印刷業界は紙メディアからウェブメディアへの移行により厳しさを増しているとみられているが、同社の場合は「シール・ラベル」、「軟包装・パッケージ」が伸長しており、売り上げ増を維持している。AI搭載のラベル印刷機は23年度から出荷が始まる。

「売上比率は国内7割、海外3割」(宮腰社長)なので、海外市場にも伸びしろがある。「強化ポイントはアジ



壁面に飾られた数多くの特許証



サマーパーティーの1コマ



先進性のある本社外観

ア。中国、インドは現地の代理店との取り組みを強化している。米国はOEM (相手先商標) 供給でやっていく」(同) と、アジア市場を強化する。

有休の未消化分は傷病時に30日まで使える。子育て支援・介護支援も充実

ミヤコシは千葉県習志野市津田沼に本社を構え、その他の国内主要拠点としては企画開発本部、ソリューションサービス本部を千葉県八千代市に、営業所を大阪、名古屋、福岡に、またグループ工場 (一部営業・サービス併設) を秋田県の横手市・大仙市、福井県坂井市にそれぞれ置いている。基本

理念である「お客様の喜び・満足を創造する、ものづくり集団」を土台に、「協調性を持って粘り強く努力する人、柔軟な考え方をもち新しい分野にチャレンジできる人を求めている」(山田茂常務)。

社員の自己啓発のために、資格取得の際は会社が受講・受験費用を負担するほか、取得後には奨励金を支給している。有給休暇については入社初年度10日間、勤務日数に応じて最大20日間が付与され、有休の未消化分は40日を限度として保有できるほか、傷病時の長期療養積立として30日まで使えるようになっている。子育て支援、介護支援制度も充実させ、社員が安心して仕事に取り組

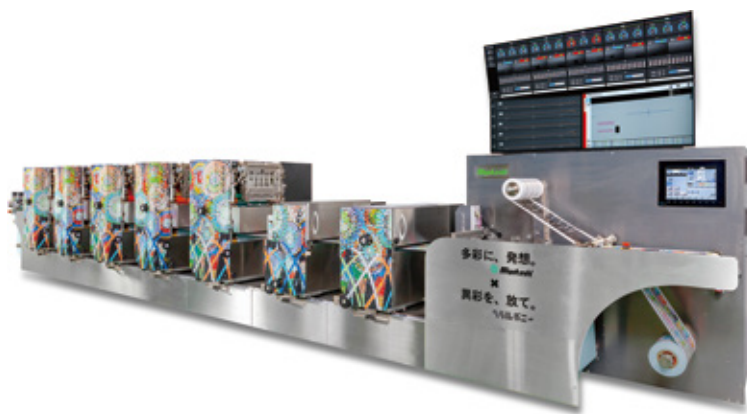
めるような体制を整備している。このほか全国の保養所やアミューズメント施設の利用補助や、サマーパーティーなどの親睦会が行われている。

人事評価制度もきめ細かい。賞与については、半年ごとに立てた目標に対する達成評価を行い、昇給昇格については、職種・階層別に定義された役割評価を年1回行うなど適正に評価することで社員のやる気を促している。

仕事は知的財産・特許管理、海外を含む販売、設計・開発、保守・メンテナンスと多岐にわたる。印刷業界が転換期にあるからこそ、明日のミヤコシをつくる意欲ある社員を求めている。



ビジネスフォーム印刷機



AI搭載ラベル印刷機

わが社を語る

代表取締役社長
宮腰 亨氏



100年企業に向けた挑戦を共に

当社は「衣・食・住」に着目した生活産業資材市場向けの印刷機製造を新たなコアビジネスとすべく、これまでの成功事例にこだわることなく、新たな成功事例の創造に積極的に取り組んでいます。そのためにも現状に満足することなく、将来の目標に向かって積極的かつ主体的に行動を起こせる人材を採用し、育てていく必要があります。設定した目標に向かって、挑戦を

続けることができれば、個人としての成長につながり、結果として会社の成長にもつながっていきます。

ミヤコシは2021年に創業75周年を迎えました。それは一つの節目、通過点に過ぎません。10年、20年、そして創業100年に向けてミヤコシの挑戦は続きます。ぜひ、その輪に加わってください。働きがいを持って仕事に専念できるよう、全力でサポートします。

会社 DATA

所在地：千葉県習志野市津田沼1-13-5
 設立：1946 (昭和21) 年5月
 代表者：宮腰 亨
 資本金：9,330万円
 売上高：118億円 (2023年3月期)
 従業員数：115名、グループ全体545名 (2023年3月時点)
 事業内容：印刷機械の製造・販売・保守
 U R L : <https://miyakoshi.co.jp/>

